

## 2023年度定時総会・懇談会を開催



航空貨物運送協会（JAFANA）は、6月6日、東京・港区のグランドプリンスホテル高輪で、2023年度定時総会を開催いたしました。総会には、正会員111社（内委任状提出社 53社）が出席しました。2022年度事業報告・収支決算及び2023年度事業計画・収支予算などの議案がすべて承認されました。今回の総会において、13年にわたり副

会長・通関部会長を務められた岡藤正策理事の他、岡部直己専務理事、奥田雅彦理事が退任し、総会後の理事会において副会長に選任された杉山千尋日本通運専務執行役員、谷村和宏阪急阪神エクスプレス代表取締役社長の両氏に加え、山本博之（専務理事）、筒井達夫NXクーリエサービス代表取締役社長、多田晴好サンキュウエアロジスティ

クス代表取締役社長、宇高圭一西日本鉄道常務執行役員、鶴澤清雅名鉄ゴールデン航空代表取締役社長の計7名が新たに理事に就任しました。

また、2020年以來コロナウィルス感染症の影響から開催を見合わせて参りました懇談会も、4年振りに開催いたしました。懇談会にご来賓を含め200名を超えるご参加となりました。



# 岡本会長 開会挨拶

減速傾向を反映した荷動きが示されたものと受け止めております。

他方で、国内貨物につきましては、同時期の実績は、対前年度比におきまして件数が8%増の2506万5千件、重量が8%増の40万5千トンとなりました。

国内定期便の復便が、国際線に先駆けて進んだことが寄与しているものと思われま

す。Assessment) への移行が実施され、世界各地の「CBTA センター」が従事者の能力証明を行う仕組みに代わっております。

当協会におきましても昨年 IATA から「CBTA プロバイダー」の認証を受け、本年3月から新プログラムでの教育訓練事業を開始いたしており、これからの受講頂いた皆様の声なども手掛かりにして、更に内容充実に努めてまいります。

また、会員会社に所属される初任者等を対象とする基礎講習等につきましても、教育内容や使用教材に引き続き不断の改良を加えてまいります。

物流の効率化につきましては、業務デジタル化や NACCS プログラム更改への対応等会員の皆様のお取組への支援に努めてまいります。

現在、政府が推進しているトラックドライバー不足問題への対応や、成田空港の機能強化における貨物地区再編への動向も踏まえつつ、諸課題に関して官民の関係者との対話・調整を進めてまいります。

本日の総会が実り多いものとなりますよう、皆様のご協力をお願いし、総会冒頭のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

2023 年度の定時総会の開会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、会員の皆さまには、お忙しい中、一般社団法人 航空貨物運送協会の 2023 年度定時総会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

また、平素から、当協会に格別のご支援をいただいていることに対しまして、改めて御礼を申し上げます。

さて、2022 年度の航空輸送実績の概況は、輸出貨物につきましては、対前年度比におきまして件数で 11% 減の 250 万 6 千件、重量で 19% 減の 92 万 8 千トンとなりました。

また、輸入貨物につきましても、対前年度比におきまして、件数で 8% 減の 195 万 4 千件、重量で 15% 減の 86 万 9 千トンとなりました。

今回は、一昨年度にみられた海上輸送の逼迫要因の鎮静化や、海外景気

続きまして、当協会の基本的な活動状況と課題につきましてお話し申し上げます。

当協会は、フォワーダー業界が現在と将来において果たしていくべき社会的役割を踏まえて、会員とともに「安全」「教育訓練」「物流の効率化」を 3 本柱として積極的に活動していく所存でございます。

航空保安につきましては、国土交通省航空局から航空保安教育教育訓練支援機関としての認定を受け、RA 事業者である会員の皆様の体制強化に貢献できるように取り組んでおります。

危険物取扱につきましては、本年から ICAO 及び IATA の国際規則により、従事者の職務ごとの要件に着目した教育訓練である CBTA 方式 (Competency-based Training



## 協会役員

理事 20 名 / 監事 2 名 (敬称略) (●は新任)

(2023 年 7 月 1 日現在)

協会役職	氏名	会社名・役職
会長 (代表理事)	岡本 宏行	郵船ロジスティクス(株)代表取締役社長
副会長 (代表理事・総合部会長)	鳥居 伸年	(株)近鉄エクスプレス代表取締役社長
副会長 (国際部会長)	● 杉山 千尋	日本通運(株)専務執行役員
副会長 (国内部会長)	恵谷 洋	ヤマト運輸(株)専務執行役員
副会長 (通関部会長)	● 谷村 和宏	(株)阪急阪神エクスプレス代表取締役社長
専務理事	● 山本 博之	(一社) 航空貨物運送協会専務理事
常務理事	宮内 祥三	(一社) 航空貨物運送協会常務理事・事務局長
理事	原 学	インターナショナルエクスプレス(株)代表取締役社長
理事	● 筒井 達夫	NX クーリエサービス(株)代表取締役社長
理事	根岸 毅	(株)OCS 代表取締役社長
理事	● 多田 晴好	サンキュウエアロジスティクス(株)代表取締役社長
理事	八嶋 浩一	商船三井ロジスティクス(株)代表取締役社長
理事	渡部工次郎	西濃運輸(株)執行役員国際部部長
理事	藤松 正樹	セイノースーパーエクスプレス(株)常務執行役員
理事	● 宇高 圭一	西日本鉄道(株)常務執行役員
理事	桜井 哲男	(株)日新取締役常務執行役員
理事	中谷 智	(株)ペガサスグローバルエクスプレス代表取締役社長
理事	● 鶴澤 清雅	名鉄ゴールデン航空(株)代表取締役社長
理事	黒梅 裕一	ロジスティードエクスプレス(株)代表取締役社長
理事	小島 朋子	(株)YDH・ジャパン代表取締役社長
監事	中鼻 一博	ケイヒン航空(株)代表取締役社長
監事	堤 廣	国際空輸(株)代表取締役社長

# 2023年春期国際航空貨物基礎講習会を開催

2023 年 5 月 25 ～ 26 日にわたり、国際教育委員会主催の春期国際航空貨物基礎講習会を開催いたしました。

本年も春 (5 月) と秋 (10 月) の 2 回に分け開催することとし、5 月 25 日は、会場参加 43 名、オンライン参加 223 名。5 月 26 日は会場参加 44 名、オンライン参加 60 名で、2 日間合計 370 名と数多くの方に受講いただきました。

講義は下記 6 つのテーマに沿って、JAJA 各委員会・JAJA 講師が担当し、航空貨物取扱いの基礎、通関業務および航空危険物取扱いの基礎について学んでいただきました。

終了後には、参加された皆様にアンケートへの回答を願ひし、秋 (10 月) に開催予定の国際基礎講習会では、このアンケートを参考により充実した内容で開催できるように準備してまいります。(国際教育委員会)



### 国際航空貨物基礎講習会の講義メニューおよび担当講師

講義メニュー	担当講師
開講挨拶	国際教育委員会
成田空港紹介 DVD 視聴 (50 分)	JAJA 事務局
航空貨物概論 (60 分)	ANA Cargo 様
輸出入業務および輸出実務 (110 分)	国際教育委員会
輸出入通関業務 (60 分)	通関業務委員会
危険物輸送について (60 分)	JAJA 講師





# 国内航空貨物基礎講習会を開催

国内航空貨物基礎講習会を、2023年6月15日(木)・16日(金)の2日間にわたりJAFA セミナールームでの集合形式およびオンラインの併用にて開催いたしました。昨年に引き続きオンラインも併用して開催を実施したことから全国各地からの参加が可能となり、各社の新入社員を中心に延べ121名にご参加いただきました。

昨年は基礎的な内容を春に、運賃料金計算や損害保険などの専門性の高い内容についてはより理解度を高めることを目的として、一定程度実務を経験した秋に開催といたしましたが、各社の教育プログラムが春中心であり春開催の希望が多かったことを踏まえ、今年は春(6月)の2日間一括開催といたしました。

今回の講義内容は、1日目に国内貨物・利用航空運送事業の概要、約款の解説、国内航空貨物業界の動向、運賃・諸料金の計算実務について、2日目には損害保険、航空保安、危険物輸送についての講義を行い、2日間計7項目について講義を行いました。

航空貨物業界の動向、損害保険業務については外部講師として日本航空様、損保ジャパン様からそれぞれ講師をお招きし、わかりやすく解説をしていただきました。



また、危険物輸送については、JAFA 講師から、危険物規則の解説の他、近年増えているリチウム電池やドライアイスの取扱いについて実務に即して講義をいただきました。

講習後、受講者に記載いただいたアンケート結果は「満足」「やや満足」が大半となっており、今回の講習会が受講者の一定のお役に立てたものと考えております。

当委員会では、今後も国内航空貨物の発展に向けて国内航空貨物に従事する皆様への様々な講習会を企画してまいります。

(国内業務・教育委員会)

## 国際宅配便利用時の梱包強化のお願い

国際宅配便におきましても脆弱梱包が原因で商品に損傷を与えるケースが発生しており、国際宅配便業務委員会では、2022年度の活動方針として航空輸送に耐え得る「梱包強化」について検証と検討を行ってまいりました。

委員会として別紙パンフレット作成しましたので、事業者様のご理解と、荷主様へ配布の上ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

### ■ 貨物お引渡し時の商品梱包について

国際宅配便は、全世界へ商品を迅速、確実かつ安全に輸送することが求められ、そのためには輸送に耐えうる梱包が必要となります。また、航空会社の加盟するIATA(国際航空運送協会)の規定では、「通常の取扱い状況下で安全に運送できる梱包を行うことと、通常の運送で発生するあらゆる事象に耐えられる梱包を行うことは、荷主の責任である」との記載もございます。

### ■ 段ボール梱包について

海外向け輸送で利用する段ボール箱は、海外輸出に適し

た添付の段ボールのご利用をお勧めします。

また、必要な貨物ラベル(102mm×128mm等)が貼れる面が取れる大きさも必要となりますので、詳しくはご利用の国際宅配便事業者へお尋ね下さい。

### ■ 包装物の強度について

航空機への搭載では、最大高さ3mまでの段積みを行う場合がございます。下段に積まれた貨物は、上段の貨物の自重に加え、航空機が運航中に受ける荷重(通常2G程度)も合わせて受けることとなります。これらを考慮した上で、段ボール箱については十分な強度を持った材質・構造のものをご用意いただく必要がございます。

是非大切な商品、お荷物を安全・確実に輸送する為にも、十分な強度のある段ボール箱のご利用と包装を施していただきますようお願い申し上げます。

(一部、JAFA-BIAC 共同研究会作成「航空貨物梱包要領」から抜粋・編集)

(国際宅配便業務委員会)

# 大切なお荷物の破損を防ぐため、 国際輸送に適した梱包をお願いします



国際輸送では、荷崩れ、積込・荷卸時の貨物破損、雨水の浸入等  
さまざまなリスクにさらされています。  
このようなリスクを軽減するためにも梱包の強化をお願いします。

## 梱包が不十分な事例



※強度不足



※緩衝材なし



※隙間あり



※バンド掛け

## 梱包事例

※粘着テープで強度を保つ



※ダブルカートンの利用



※隙間を作らない、緩衝材の利用

各種梱包資材もご用意していますので、お取扱い代理店へお問い合わせください。



マールス社様提供



TANAX社様提供



ヤマト運輸様提供

提供：国際宅配便業務委員会



# 2023年4月25日~4月28日 IATA World Cargo Symposium開催

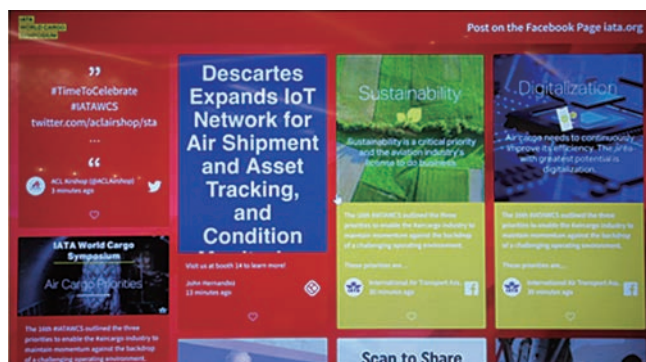
2023年度 IATA World Cargo Symposium (WCS) がトルコ・イスタンブールにて開催され、国際交流委員会と JAFA 事務局より各1名が参加いたしました。

JAFA として WCS への参加は2013年以来10年振りの参加となります。

航空貨物の安全性 (Safety & Security)、デジタル化 (Digitalization)、持続可能性 (Sustainability) への取り組みを軸に、IATA、トルコ航空、スポンサーの各会社のセッションやパネルディスカッションが行われ、全員が同じセッションに参加する形の他、各会場に分かれ、各自興味あるセッションや業務内容に関わるセッションに自由に参加できたり、携帯のアプリを使用して参加者全員がアンケートに答えながら進める等と、有意義に時間を使えるようになっていました。

セッション内容は E-Commerce の現状と今後について、2026年までに実装予定の ONE RECORD に向けて等多岐に渡りましたが、航空貨物輸送におけるセキュリティーシステムを強化することにより、輸出入が停滞する結果にならないよう、各方面で分野を超えてのデジタル化を促進することの重要性が強調されていました。

また、この開催に合わせて4月24日には CBTA Center Conference も開催され、危険物認定プログラムの概要、また今後のトレーニングプログラムや課題等も話し合われました。



2024年の IATA World Cargo Symposium の開催場所は香港に決定しております。

(国際交流委員会)





# 2023年6月8日～6月10日 FAPAA ECM/AGM 開催

2023年度FAPAA ECM/AGMは、世界的なリゾート地で有名なインドネシア・バリ島にて、Indonesian Logistics and Freight Forwarders Association (ILFA) 主催の元に開催されました。JAFPAとしては、2019年バングラディシュ・ダッカでのECM/AGM以来4年ぶりのon-site参加となり、国際交流委員会より2名を派遣しました。

今回の会議には、アジア・オセアニアに帰属する12か国+2地域の各国の代表が集結。また、各国・地域の代表団に加えFAPAAの要請によりFIATA及びIATAの代表も参加いたしました。

FIATAからはAFI (Airfreight Institute) Ms. Andrea Tangが参加し、FIATAの取り組み内容についての説明がありました。①先進的な貨物情報プログラム (ICS-2等) の導入に関する情報の展開②IATA代理店プログラム (IFCC/84) の関するフォワーディング業界の擁護と保護等の紹介と共に、アンケートが実施されました。

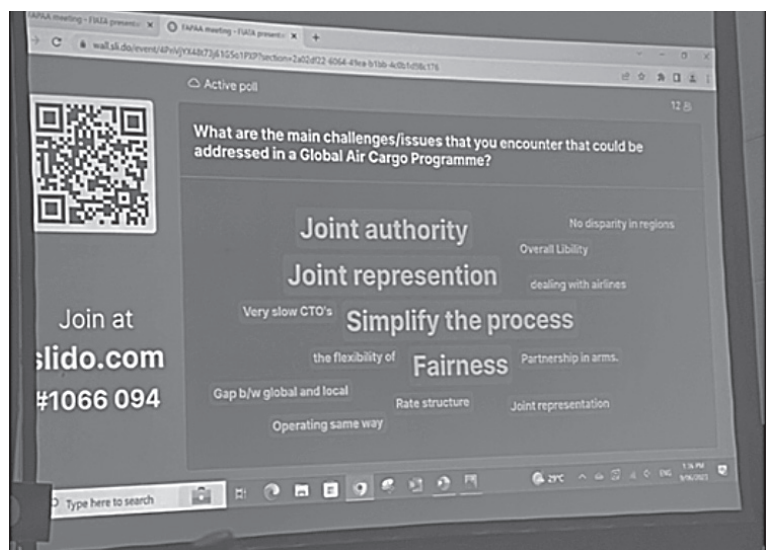
IATAからは、Regional Cargo Manager Mr. David Weeが参加。IATAの2023年度の活動内容の紹介及び、CASS導入方法や運用の現状、また現在IATAが推奨している共通プラットフォーム「One Record」に関する情報展開がありました。

その他、航空セキュリティや教育訓練も議題として取り上げられ、各国代表による活発な意見交換が行われました。

今年は、理事国が交代の年となり、2021年度よりオーストラリアがFAPAA理事国を担当しておりましたが、来年度よりフィリピンが理事国となり、一旦メンバーから離脱していましたベトナムがFAPAAメンバーへの復帰が決まりました。

2024年のFAPAA開催場所はオーストラリア・パースに決定及び2025年はネパール・カトマンズが開催場所に内定しております。

(国際交流委員会)



# 2023年3月および5月セッション・ IATA 認定国際航空貨物・基礎コース (Cargo Introductory Course) 合格者数について

2023年3月22日～4月1日および5月22日～6月1日に行われましたIATA 認定基礎コースの結果をご報告いたします。  
(国際教育委員会)

2023年3月	受験者数	合格者(pass)	合格率	90点以上の高 得点者 (distinction)	高得点での 合格率
基礎コース	142	<b>102</b>	<b>71.8%</b>	30	29.4%
2023年5月	受験者数	合格者(pass)	合格率	90点以上の高 得点者 (distinction)	高得点での 合格率
基礎コース	122	<b>93</b>	<b>76.2%</b>	31	33.3%

## IATA認定危険物資格取得講習会について

IATA 認定のCBTA プロバイダーとして本年3月より新たに開講した航空危険物取扱資格取得講習会につきましては、5月8日より23日までの間、第2回の講習会を開催いたしました。

今回は、放射性物質取扱を含むコースとリカレントコースを新たに開講し、東京・大阪の2カ所で開催いたしました。評価試験の結果は下記のとおりとなっております。

本講習会については、従来の試験対策の講習会とは異なり、業務に即したより実践的な内容となるよう努めるとともに、荷主の皆様にも広くお伝えし、資格取得を呼びかけております。今後も、奇数月に開催いたしますので、ぜひ

多くの会員様従業員の方にご参加いただき、航空危険物取扱の資格取得を目指していただきますとともに、航空危険物を取り扱う荷主様にも本講習会をぜひご紹介いただき、資格取得を推奨いたしますよう、あわせてお願い申し上げます。

資格取得・講習会の詳細につきましては、当協会 HP をご覧いただき、メール (kyoiku@jafa.or.jp) にてお問い合わせください。  
(国際教育委員会)



コース	受講者数	東京地区	大阪地区	合格率
7.1	6名	3名	3名	100%
7.3 イニシャル (初回)	32名	23名	9名	100%
7.3 リカレント (更新)	17名	7名	10名	94.1%



# 記者懇談会開催

4月21日、証券会館において専門紙記者との2023年の懇談会、懇親会が開催されました。

懇談会には専門紙7社から計8名の記者の出席がありました。

また、Jafa 側からは会長、副会長、各部長会社担当者、各委員長および事務局が出席しました。

懇談会では、各部署の2022年度の活動の振り返りと2023

年度の活動計画について各部長から発表がなされた後、質疑応答を行いました。

出席した各記者からは、成田空港周辺の動きについての成田空港会社への要望、今後の荷動きの見通し、危険物教育のCBTAへの移行、教育事業等についての活発な質問があり、会長、副会長、専務理事が回答しました。

今回は4年ぶりに懇親会も開催され和やかな雰囲気の中、記者の方々との相互理解と交流を深めることができました。

(広報委員会)

## 委員会等活動報告

4月	3日	国際交流委員会	FIATA HQ Meeting 参加報告
	4日	国際教育委員会	2023年度国際基礎講習会、CBTA 危険物資格取得講習会について
	7日	通関業務・情報合同委員会	委員長選任、通関業連合会との打合わせ内容報告、他
	10日	政策委員会	Jafa セミナー 「物流の2024年問題について」開催
	11日	国際業務委員会	航空貨物におけるデジタル化推進、CBTA について
	14日	政策委員会	2022年度決算の審議、Jafa 準会員の規定改正、Jafa セミナー 振り返り、航空貨物取扱実績仕向地追加
	17日	広報委員会	Jafa ニュース春号(126号)最終編集会議
18~20日		国際教育委員会	5月セッション・IATA ディプロマ認定試験-基礎コース・事前講習会(東京・大阪)
	20日	国内業務・教育委員会	基礎講習会用動画教材制作 WG
	21日	国内業務・教育委員会	基礎講習会、危険物教育、動画教材制作、無申告危険物搭載防止について
	21日	広報委員会	記者懇談会開催
	26日	国内業務・教育委員会	基礎講習会用動画教材制作 WG
	26日	広報委員会	Jafa ニュース春号(126号)発行
24~28日		国際交流委員会	IATA World Cargo Symposium 参加(トルコ・イスタンブール)
	27日	保安委員会	CSD 統合案に関する BIAC、IATA との打ち合わせ
5月8~23日		国際教育委員会	IATA 危険物資格取得講習会(東京・大阪) - 55名受講
	15日	国際交流委員会	IATA WCS 参加報告
5月22日~6月1日		国際教育委員会	IATA ディプロマ認定試験・基礎コース5月セッション-122名受験
	22日	広報委員会	2023年度定時総会・記者会見・懇談会事前打ち合わせ
	24日	国際業務委員会	IATA JAPAN による One Record/Litium Batteris プロモーション-230名参加
25・26日		国際教育委員会	春期国際航空貨物基礎講習会-370名参加
	29日	空港対策委員会	委員長・副委員長の選任、委員会の活動内容に関する打合せ
	29日	Jafa-BIAC 共同研究会	航空危険物ベーシック講習会、空港施設見学会、2024年賀詞交換会、危険物のパンフレット作成
	30日	国際宅配便業務委員会	2022年度活動の広報活動、2023年度活動テーマについて
	31日	通関業務・情報合同委員会	財務省関税局との意見交換会開催
	31日	通関業務・情報合同委員会	国際航空貨物基礎講習会春期の実施状況報告、秋期に向けた準備、第7次 NACCS 仕様説明会について
6月	1日	政策委員会	Jafa セミナーのテーマに関する打合せ、航空貨物取扱実績仕向地追加について、Jafa 準会員の規定改正
	5日	国際業務委員会	航空貨物におけるデジタル化について
8~10日		国際交流委員会	第49回 FAPAA ECM/AGM 参加(インドネシア・バリ島)
	9日	国内業務・教育委員会	基礎講習会、危険物教育、動画教材制作について
15・16日		国内業務・教育委員会	国内航空貨物基礎講習会(2日間コース)
	20日	国内業務・教育委員会	基礎講習会用動画教材制作 WG
20~27日		国際教育委員会	7月セッション・IATA ディプロマ認定試験-基礎コース・事前講習会(東京・大阪)
	22日	広報委員会	Jafa ニュース夏号(127号)編集会議
	26日	国際交流委員会	FAPAA ECM/AGM 参加報告
	28日	Jafa-BIAC 共同研究会	航空危険物ベーシック講習会開催
	29日	保安委員会	2023年度航空保安教育訓練打合せ、CSD 統合に関する打合せ 他
	30日	国際交流委員会	FIATA General Meeting オンライン参加



山崎翼 財務省大臣官房  
審議官

鶴田浩久 国土交通省大臣官房  
公共交通・物流政策審議官



一般社団法人 航空貨物運送協会  
2023年度 懇談会



大鹿仁史 日本貨物航空株式会社 代表取締役社長



新理事の紹介

